



プレスリリース

**世界遺産「春日大社」所蔵資料のデジタル画像を
国文学研究資料館が公開
—奉納和歌を中心とする未公開の文学関係資料—**

発表のポイント

国文学研究資料館（国文研、東京都立川市）は、世界遺産「春日大社」所蔵の古典籍のうち109点のデジタル画像を、国文研の「国書データベース」にて公開しました。

江戸時代の奉納和歌を中心とする、これまで未公開の貴重な文学関係資料です。国文研が2012年度から続けている調査研究活動のもと、春日大社の御理解を得て、このたび同社所蔵資料のデジタル化と公開が実現しました。

（春日大社画像一覧 <https://kokusho.nijl.ac.jp/page/list-kasg.html>）

国書データベース <https://kokusho.nijl.ac.jp/>

国文学研究資料館が構築するもので、国内外の多くの機関等及び国文学研究資料館が所蔵する古典籍（江戸時代以前の書籍）等資料の書誌情報と、その一部の高精細画像を一度に検索・利用できるデータベースです。無料で公開していますので、どなたでも利用できます。

発表内容

春日大社（かすがたいしゃ 奈良県奈良市春日野町160）は、奈良時代の神護景雲2年（768）に勅命によって造営されたと伝えられる日本有数の由緒ある神社です。古くは「春日社」と呼ばれ、明治維新の神仏分離令に伴い明治4年（1871）に官幣大社「春日神社」となり、昭和21年（1946）から「春日大社」と呼ばれるようになりました。神山を含む約30万坪の神社全域が、ユネスコの世界遺産「古都奈良の文化財」の一つとして登録されています。

刀剣などの武器武具などがあり、春日大社にしか残っていないものも多いことから、「平安の正倉院」とも称されています。それらの宝物は、国宝殿等で開催される特別展・常設展などの展示で一般に公開されており、広く知られているところでしょう。

くわえて春日大社には、文学関係の所蔵資料、特に奉納和歌を中心とする懐紙・短冊、文書・冊子などもあります。和歌に関連する資料にしばっても、江戸時代のものを中心に明治時代のものも含み、点数は約100点にのぼります。そのほか歌集の写本や、春日社の神官が書写した『源氏物語』の写本なども収蔵されています。それらは、いずれも学術研究上たいへん重要であることはもちろん、文化史上も貴重な原資料にほかなりません。ただ、これまで学術研究が必ずしも十分行われてきたわけではなく、一般にもその存在が広く認知されているわけではありませんでした。

このたび画像公開するのは、そうした春日大社に所蔵する文学関係資料、計109点です。未公開の奉納和歌を中心とする、貴重な資料の数々であり、デジタル画像によって閲覧できるようになることは画期的であると言えます。

国文研では、2012年度から春日大社所蔵の文学関係を中心とする所蔵資料の調査を行ってきました。そして、当館の調査研究活動に対する春日大社の御理解のもと、2024年度より、調査を行った資料を対象とするデジタル撮影を開始し、画像公開についても許諾を得て、このたび国書データベースから公開するはこびとなった次第です。

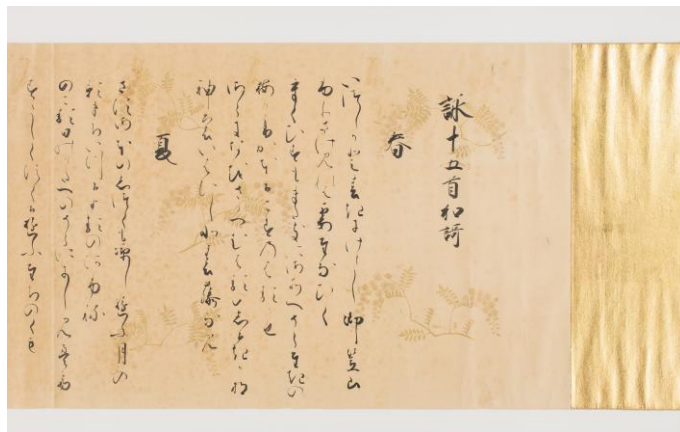
なお、この画像公開と並行して、春日大社の和歌関係資料を研究対象とする国文研の共同研究「春日大社の研究」（2025～2027年度）も進めており、原資料の調査にくわえて画像も活用した研究を展開しています。

▶ 「御宸翰 桜町天皇宸筆和歌十五首」



江戸時代中期の桜町天皇（1720-50）が奉納した和歌。鍵のついた箱に収められており、天皇自筆の和歌が春日大社に奉納された当時のすがたを今に伝えています。

<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/300135203/2?ln=ja>



巻頭は「詠十五首和詞」

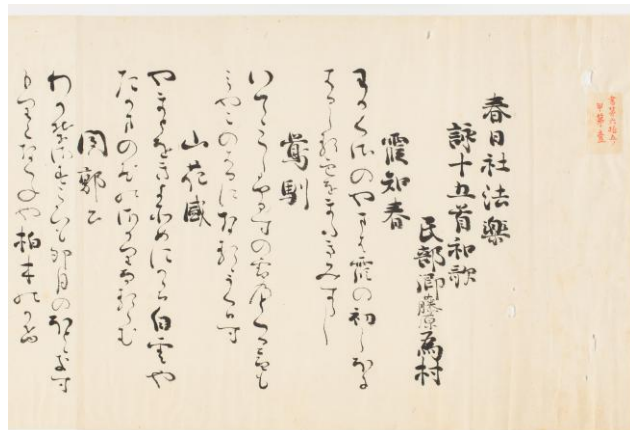
「春／いつしかと春きにけらし御笠山
ふりさけみれば霞たなびく」

<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/300135203/6?ln=ja>

▶ 冷泉為村「春日社法楽 詠十五首和歌」

冷泉為村（れいぜいためむら1712-74）が奉納した和歌。為村は江戸時代中期に活躍した歌人。丸みをおびた特徴的な筆蹟は、先祖にあたる藤原定家の筆を受け継ぐ書風。春日社の神官たちは、為村の門弟となって和歌の指導を受けていました。春日大社には、為村と春日社の深い関わりをうかがわせる資料がほかにも複数収蔵されています。

<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/300135225/3?ln=ja>



当館概要

国文学研究資料館は、国内各地の日本文学とその関連資料を大規模に集積し、日本文学をはじめとする様々な分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基盤的な総合研究機関です。

現在、文系唯一の大規模学術フロンティア促進事業（文部科学省）として、「データ駆動による課題解決型人文学の創成～データ基盤の構築・活用による次世代型人文学研究の開拓～」(国文研DDHプロジェクト)を、令和6(2024)年度から令和15(2033)年度までの10年計画で実施しています。

国文学研究資料館 ホームページ
国文研DDHプロジェクト ホームページ

<https://www.nijl.ac.jp/>
<https://www.nijl.ac.jp/ddh/>

問い合わせ

発表内容について

国文学研究資料館管理部
学術情報課基盤データ企画係
メールアドレス center_db@nijl.ac.jp

取材申し込みについて

国文学研究資料館管理部総務課広報室
メールアドレス jigyou@nijl.ac.jp
電話番号 050-5533-2984